

---

# 日本語教育人材養成講座運営委託業務

## 成果報告書

---

令和3年3月

一般社団法人 北海道日本語センター



## 目次

1. はじめに	2
2. 事業の概要	3
2.1 日本語学習支援者養成講座の概要	3
2.2 実施状況	5
3. 講座の目的と内容	6
3.1 講座の目的	6
3.2 講座実施の方針	6
3.3 各回のテーマと内容	7
4. 各開催地についての報告	10
4.1 浦河町（日高振興局）	11
4.2 釧路市（釧路総合振興局）	14
4.3 別海町（根室振興局）	17
4.4 網走市（オホーツク総合振興局）	20
4.5 雄武町（オホーツク総合振興局）	23
4.6 稚内市（宗谷総合振興局）	26
4.7 留萌市（留萌振興局）	29
5. 参加者アンケートの結果と分析	32
6. フォローアップ講座の報告	35
7. まとめ及び今後への提言	36
7.1 成果と問題点	36
7.2 今後への提言	37
資料編	
資料1. 現地調査報告	40
資料2. 開催地別講座チラシ	43
資料3. 最終アンケート参加者コメント	57

# 1. はじめに

---

一般社団法人北海道日本語センター（以下、北海道日本語センター）は北海道の「日本語教育人材養成講座運営委託業務」を受託し、令和2年8月から令和3年3月まで業務を行った。この業務は、日本語学習機会の空白地域の解消のため、「日本語学習・日本語教育の支援にあたって必要となる知識・技術の習得を目的とした養成講座を開催し、地域における日本語学習・日本語教育をサポートできる人材を養成することで、道内の外国人がそれぞれの在住する地域において日本語を学習する環境を整え、道内の外国人受け入れ環境の整備を促進する」ことを目的としていた。

これを受けて、北海道日本語センターは、全道7か所で「日本語学習支援者養成講座」を開催した。本報告書では、講座の内容や参加者の状況、講座の成果などについて詳しく報告する。

なお、ここで講座名に掲げた「日本語学習支援者」について簡単に説明しておきたい。文化庁は日本語教育人材をその役割に応じて、①日本語教師、②日本語教育コーディネーター、③日本語学習支援者の三つに分類しており、日本語学習支援者は、①②の日本語教育の専門家とともに日本語学習を支援し促進する者と位置付けている。実際には地域の日本語教室などでボランティアとして活動する人々を指す。

今回の講座では、日本語学習支援者を「地域・職場・学校などで、外国人の日本語学習を支えるボランティア」と定義し、日本語教育の専門家がいなくて、同じ地域で生活する者としてどのような支援ができるのか、日本語教育の基礎的な知識や各地の日本語学習支援の事例から学びつつ、受講者とともに考えていった。

## 2. 事業の概要

### 2.1 日本語学習支援者養成講座の概要

本事業では、日本語教室の空白地域における日本語学習支援者の養成を目的として、道内の7か所で以下のように講座を開催した。

講座名 日本語学習支援者養成講座

講座内容 日本語教育の基礎知識、支援者の役割、支援の方法など（→第3章参照）

対象者

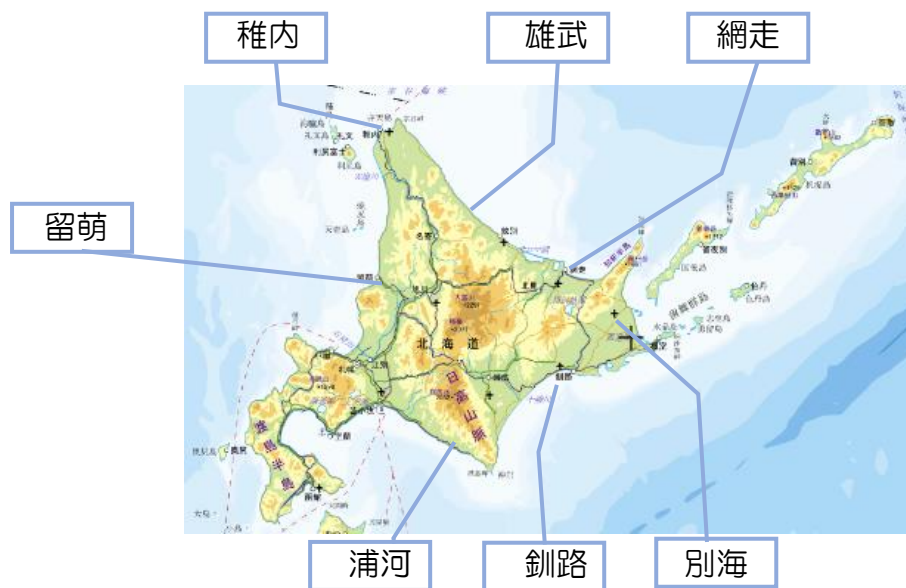
- ・対象地域で在住外国人との交流に取り組んでいる者
- ・技能実習生への日本語教育に関心のある管理団体・受け入れ団体の職員
- ・留学生や外国人児童などへの日本語教育の関係者
- ・地域における日本語学習支援に関心のある者、等

日程及び会場（1回6時間で3日間）

- |                    |                      |
|--------------------|----------------------|
| ① 9月19日、20日、26日    | 浦河町（浦河町基盤集落センター堺町会館） |
| ② 9月26日、10月3日、10日  | 釧路市（釧路市交流プラザさいわい）    |
| ③ 9月27日、10月4日、11日  | 別海町（別海町交流館ぷらと）       |
| ④ 10月17日、24日、31日   | 網走市（網走勤労総合福祉センター）    |
| ⑤ 10月18日、25日、11月1日 | 雄武町（雄武地域交流センター）      |
| ⑥ 10月18日、25日、11月1日 | 稚内市（稚内生涯学習総合支援センター）  |
| ⑦ 11月7日、14日、3月7日   | 留萌市（留萌商工会議所）         |

\*講座終了後に、受講者を対象にオンラインでフォローアップ講座を行った。

（→第6章参照）



## 開催地の選定理由

道内の14振興局のうち、外国人の増加が著しくかつ日本語教室がないか、あっても限定的である6つの振興局（日高、留萌、宗谷、釧路、根室、オホーツク）を対象に、下の①～③の点から開催地として選定した。

- ① 開催予定地やその周辺地域で外国人登録者が特に多いこと
- ② 振興局内で中心的な市や町で、会場として利用できる公共施設があり、周辺地域からの交通の便もよいこと
- ③ 国際交流団体、技能実習生の監理団体、外国人の受入れ企業などが存在し、日本語教育人材養成への潜在的なニーズが想定され、講座への参加が期待できること

講師	ニ通信子	（当センター代表理事、元東京大学日本語教育センター教授）
	大井裕子	（同 理事、札幌大学非常勤講師）
	阿部仁美	（同 理事、北海道大学非常勤講師）

協力講師	小森千佳江	（北海道大学・北海道教育大学非常勤講師）
	式部絢子	（北海道大学・北海道教育大学非常勤講師）
	富田麻知子	（北海道大学・藤女子大学非常勤講師）
	藤原安佐	（北海道大学・北星学園大学・札幌大学非常勤講師）
	山本さやか	（北海道大学・室蘭工業大学非常勤講師）

## 講座の周知方法

- ・各振興局および開催地の自治体の関係部署、国際交流団体、技能実習生の監理団体や受入れ企業、新聞社支局などへの案内チラシの郵送
- ・現地調査時に各地の関係者への説明及び協力の依頼
- ・新聞社支局及び地方新聞社への紹介記事の依頼
- ・道及び、当センターホームページ、北海道日本語教育ネットワークのメーリングリスト、退職教員の団体のニューズレターでの紹介、など

## 受講申込受付方法

開催地ごとに受付期間を設定し、メール、ファックス、電話により受け付けた。  
（→資料2 開催地別講座チラシ参照）

## 2.2 実施状況

7 会場合計で 186 人の申し込みがあり、欠席者を除く実際の受講者は 177 人であった。特に、釧路、留萌、網走などでの参加が多かった。また、最終日の日本語教室の模擬体験には合計 61 人の外国人ゲストが参加した。講座の様子は北海道新聞全道版（2020 年 9 月 13 日）をはじめ、各地の新聞や NHK のニュース（地域枠）などで報道された。

	申込者	出席者			マスコミ報道	自治体広報等
		第 1 回	第 2 回	第 3 回		
浦河	16 人	15 人	16 人	16 人	北海道新聞日高版(8/28、9/21)、日高報知新聞(9/23)	浦河町広報 11 月号
釧路	47 人	40 人	39 人	41 人	北海道新聞釧路・根室版 釧路新聞(8/31)	振興局 HP
別海	23 人	18 人	18 人	16 人	北海道新聞釧路・根室版 釧路新聞(10/3)	振興局 HP
網走	30 人	23 人	21 人	21 人		振興局、網走市 HP
雄武	18 人	15 人	14 人	16 人	北海道新聞オホーツク版 NHK 北見支局	広報へのチラシ折り込み、 振興局、雄武町、観光協会 HP
稚内	13 人	10 人	10 人	10 人	稚内プレス(10/19)	振興局 HP
留萌	39 人	31 人	30 人	20 人	北海道新聞留萌宗谷版(11/8)、 日刊留萌(11/10、3/10)	振興局 HP、小平町広報

〈外国人ゲスト（人数） 国籍（人数） 身分〉

浦河（11）ベトナム（9）タイ（1）ネパール（1） 【技能実習生、家族滞在、ALT】

釧路（14）モンゴル（3）アメリカ（3）中国（2）アイルランド・ガイアナ・ラオス・インドネシア・パキスタン・フィリピン（各1）

【高専留学生、ALT、大学教員、医師、英会話学校講師、家族滞在】

別海（7）ベトナム(3),アメリカ(3),インドネシア(1) 【技能実習生、ALT】

網走（7）中国（5）,カナダ（1）,スウェーデン（1） 【技能実習生、家族滞在、ALT】

雄武（6）ベトナム（6） 【技能実習生、監理団体職員、地域おこし協力隊員】

稚内（4）ベトナム（4） 【技能実習生】

留萌（12）ベトナム（12） 【技能実習生、家族滞在】

## 3. 講座の目的と内容

---

### 3.1 講座の目的

本講座では次の①～④を目的とし、特に最後の④を講座の最終的なゴールに設定した。

①外国人の目から見た日本語の特徴や、日本語学習支援の意義と具体的な方法について学ぶ。

②「やさしい日本語」でのコミュニケーションについて学び、外国人との日本語でのコミュニケーションを体験する。

③地域の外国人をめぐる状況について知るとともに、同じ地域で日本語学習支援に関心を持つ人々と交流し、今後のネットワークづくりの手がかりを得る。

④地域の外国人の状況や支援者側の条件を踏まえて、自分の住んでいる地域や自分の職場で、どのような形の日本語学習支援ができるか、実現可能な日本語学習の場をデザインする。

### 3.2 講座実施の方針

①ポイントを絞ってわかりやすく説明する

今回の受講者は、「外国語としての日本語」や日本語の教え方について初めて学ぶ人がほとんどであり、時間も限られているため、講座では基本的なポイントに絞って、具体例を多く入れながらわかりやすく説明した。また、詳しいことについては日本語の教材や参考図書をできるだけ紹介することで補うようにした。

②一方的な講義ではなく、具体的な活動を組み込んで実践的な学びの場にする

講師による講義と受講者個人やグループでの活動を組み合わせて、実際の活動を通してより理解できるようにした。例えば、「やさしい日本語」での会話のタスク、チラシから様々な話題を考える活動、架空の日本語教室のプラン作り、外国人ゲストとの「日本語教室の模擬体験」などの活動を行い、それらの活動を通して日本語学習支援の具体的なイメージがつかめるようにした。

③講座でのさまざまな活動を通して受講者どうしの交流を深める

地域で日本語学習支援に関心を持つ人たちのつながりを深めるために、受講者同士の情報交換や協働作業の場を重視した。活動ごとにグループの編成を変えることで、様々な受講者と交流できるようにした。





### 3.3 各回のテーマと内容

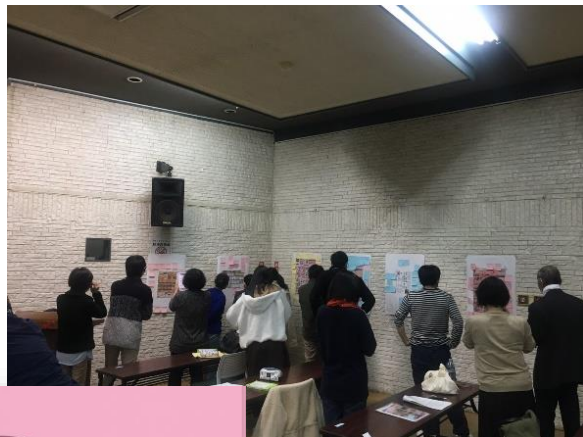
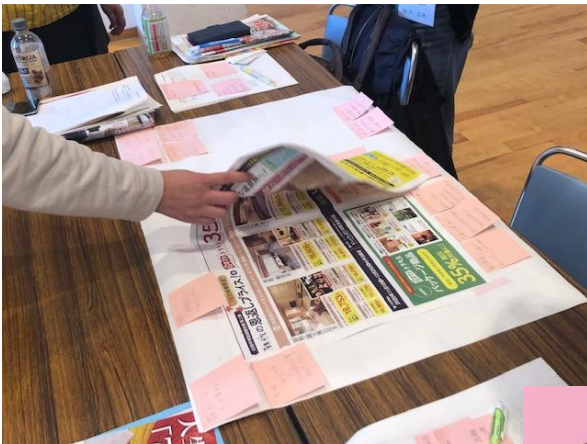
< 第 1 回 >

地域の外国人の状況	<b>I 地域の外国人の状況と日本語学習支援者の役割</b>
日本語学習支援とは	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 北海道の外国人<ul style="list-style-type: none"><li>・道内や地域の外国人の状況</li><li>・技能実習生等の外国人労働者の増加</li><li>・日本語教育が必要な子どもたち</li></ul></li><li>2. 外国人への日本語学習支援<ul style="list-style-type: none"><li>・日本語教育の新しい段階</li><li>・日本語学習支援者と地域の日本語教室の役割</li></ul></li></ol>
外国人の目から見た日本語の特徴	<b>II 日本語教育の基礎知識</b> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 外国人から見た日本語の特徴<ul style="list-style-type: none"><li>・日本語の特徴（文字・発音・文法など）</li><li>・日本語を観察する</li></ul></li><li>2. 日本語学習者のニーズや学習環境</li><li>3. 日本語能力のとらえ方<ul style="list-style-type: none"><li>・日本語の初級・中級・上級</li></ul></li><li>4. 文法の学習内容と順序<ul style="list-style-type: none"><li>・初級の標準的な学習内容</li><li>・日本語初級終了に必要な時間</li><li>・初級以降の学習内容</li></ul></li></ol>



< 第 2 回 >

日本語の教え方と 目的別の教材	<p><b>Ⅲ 日本語の教え方—教授法、教材</b></p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 初級段階での教え方</li><li>2. 日本語の教科書</li><li>3. 文字の習得のための教科書</li><li>4. オンラインで入手可能な教材</li><li>5. たくさん話すための教材（地域日本語教室に必要な教材） ・身近なもの（チラシ）から会話教材を作成してみよう</li></ol>
日本語で 伝え合う方法	<p><b>Ⅳ 外国人とのコミュニケーションのための「やさしい日本語」</b></p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 文化の異なる人とのコミュニケーションで大切なこと</li><li>2. 「やさしい日本語」とは ・「やさしい日本語」がめざすもの ・多文化共生社会における「やさしい日本語」の役割</li><li>3. 「やさしい日本語」のコツ ・「やさしい日本語」の方法や表現 ・「やさしい日本語」の文章への書き換え</li><li>4. 「やさしい日本語」の説明や会話の実践</li></ol>



『話してみよう日本語で 2020』  
（一社）北海道日本語センター作成

日本語学習支援 の実際	<p><b>V 日本語教室の活動内容と日本語学習支援者の役割</b></p> <p>1. 日本語学習支援のタイプと日本語学習支援者の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語学習支援の様々なかたち</li> <li>・日本語学習支援者の役割</li> </ul> <p>2. 日本語学習支援の現場から</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語学習支援者からのよくある質問</li> </ul> <p><b>VI 日本語学習支援を始めるために</b></p> <p>1. 日本語教室を始めるために</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域や職場でどんな日本語教室が作れるか(対象者を想定した具体的なプランづくり)</li> <li>・日本語教室開設や運営に必要なこと</li> </ul> <p>2. 日本語教室の模擬体験</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人との実際の会話、簡単な説明など</li> </ul>
日本語教室の デザイン	
日本語教室の 模擬体験	

